

国際バカロレアについて

令和元年10月29日






国際バカロレア (IB) について



国際バカロレアとは

- ▶ 国際バカロレア (IB) とは、**課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業**により、**グローバル化に対応した素養・能力を育成**する教育プログラム。国際バカロレア機構の提供の下、世界150以上の国・地域の5,000校以上で実施 (2019年7月現在)。
- ▶ **高校レベルのディプロマ・プログラム (DP)** では、**国際的に通用する大学入学資格 (IB資格)** が取得可能であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。幼稚園、小学校、中学校レベルのプログラムを含め、我が国のグローバル人材育成等に資する。
- ▶ **未来投資戦略2018 (2018年6月閣議決定) において、IB認定校等を2020年度までに200校以上**にするという目標 (2019年7月現在146校) を掲げている。

【国際バカロレアの教育プログラム】

- ◆ **ディプロマ・プログラム (DP)** 【日本：46校、世界：3,428校】 
⇒16～19歳を対象とした2年間のプログラム。主に高校で導入
 - ◆ **ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP)** 【日本：18校、世界：1,522校】 
⇒11～16歳を対象とした5年間のプログラム。主に中学校で導入
 - ◆ **プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP)** 【日本：38校、世界：1,771校】 
⇒3～12歳を対象とした5年間のプログラム。主に幼稚園、小学校で導入
- cf. キャリア関連プログラム (CP) 【日本での導入校はなし】
16～19歳を対象としたキャリア教育・職業教育に関連したプログラム

IB導入の効果

① グローバル人材育成

- ✓ 幅広い知識の**探究スキル**、**課題発見・解決能力**、**コミュニケーション能力**等を育成
- ✓ 国際的な視野を持ち、AI等の技術革新、将来 (Society 5.0) の社会課題に対応するグローバル人材を育成

② 初等中等教育の質の向上

- ✓ IBと日本の教育政策の方向性は親和性が高い
- ✓ **主体的な学び**を通じた全人教育により、水平展開できる初等中等教育の好事例を形成

③ 国際的通用性

- ✓ IB資格を活用した**国内外への進路の多様化**
(ex)高校段階のプログラム (DP) のスコアにより、
 - ・ **海外大学の受験に活用可能** (学力試験の免除等)
 - ・ **海外大学では進学後の単位**として認定 等
- ✓ 国内大学でのIB入試導入により、**海外のIB生を呼び込み、国内の大学の国際化・活性化**



(参考) IB生の授業風景
@市立札幌開成中等教育学校

【国際バカロレアの学習者像】

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に対して、機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念をもつ人 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々が持つ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

国際バカロレア認定校一覧 (令和元年7月現在)

北海道

- ※市立札幌開成中等教育学校

宮城県

- ※仙台育英学園高等学校
東北インターナショナルスクール
- ※秀光中等教育学校

群馬県

- ※ぐんま国際アカデミー

茨城県

- つくばインターナショナルスクール
- ※茗溪学園高等学校
- ※開智望小学校

埼玉県

- ※昌平中学校
- ※筑波大学附属坂戸高等学校

東京都

- アオバジャパン・インターナショナルスクール
- アオバジャパン・バイリンガルプリスクール晴海
- アオバジャパン・バイリンガルプリスクール芝浦
- アオバジャパン・バイリンガルプリスクール早稲田
- インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン
- ※開智日本橋中学・高等学校
- カナディアン・インターナショナルスクール
- K・インターナショナルスクール
- サマーヒルインターナショナルスクール
- シナガワインターナショナルスクール
- 清泉インターナショナルスクール
- セント・メリーズ・インターナショナルスクール
- ※玉川学園中学部・高等部
- 東京インターナショナルスクール
- ※東京学芸大学附属国際中等教育学校
- ※東京都立国際高等学校
- みずほスクール
- ウィローブルックインターナショナルスクール
- ※武蔵野大学附属千代田高等学院
- ※町田こばと幼稚園

(凡例)

■ 公立IB校の所在都道府県

■ 国私立IB校の所在都道府県

神奈川県

- サンモール・インターナショナルスクール
- ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール
- 横浜インターナショナルスクール
- キッズ大陸よこはま中川園
- ※法政大学国際高等学校
- ※聖ヨゼフ小学校
- ※神奈川県立横浜国際高等学校

山梨県

- ※山梨県立甲府西高等学校
- ※山梨学院幼稚園
- ※山梨学院小学校
- ※山梨学院高等学校

長野県

- ※インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢
- インターナショナルスクールオブ長野
- ※松本国際高等学校

岐阜県

- ※サニーサイドインターナショナルスクール

静岡県

- ※加藤学園暁秀高等学校・中学校

愛知県

- ※名古屋国際中学校・高等学校
- ※東海学園高校
- 名古屋インターナショナルスクール
- 江西インターナショナルスクール
- アップビート・インターナショナルスクール

滋賀県

- ※滋賀県立虎姫高等学校

京都府

- 京都インターナショナルスクール
- 同志社インターナショナルスクール
- ※立命館宇治高等学校
- ※同志社国際学院初等部

大阪府

- 大阪YMCAインターナショナルスクール
- 関西学院大阪インターナショナルスクール
- アブロード・インターナショナルスクール大阪
- コリア国際学園
- ※大阪女学院高等学校

兵庫県

- カナディアン・アカデミー
- 関西国際学園
- 神戸ドイツ学院
- マリスト国際学校
- ※AIE国際高等学校

岡山県

- ※岡山理科大学附属高等学校

広島県

- ※英数学館高等学校
- ※AICJ高等学校
- 広島インターナショナルスクール

福岡県

- 福岡インターナショナルスクール
- ※リンデンホールスクール中高学部
- ※福岡第一高等学校

沖縄県

- オキナワインターナショナルスクール
- ※沖縄尚学高等学校

認定校	: 75校
うち一条校	: 38校
うち日本語DP実施校	: 21校

国際バカロレア（IB）推進に関する政策文書等

技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について（教育再生実行会議 第十一次提言） 令和元年5月17日 教育再生実行会議

2. 新時代に対応した高等学校改革

(2) 高等学校の教育内容、教科書の在り方

- 国は、将来、世界で活躍する革新的なグローバル人材の育成を推進するための基盤構築に向け、高等学校におけるICT環境整備などの取組を進めるとともに、**我が国における国際バカロレアの推進**を図るため、学習指導要領の内容を確実に学びつつ国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを無理なく履修することができ、より活用しやすい制度となるよう、**現在の教育課程の特例を認める仕組みの改善**を図る。

第3期教育振興基本計画 平成30年6月15日 閣議決定

2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

目標（7）グローバルに活躍する人材の育成

○国際化に向けた先進的な取組を行う高等学校・高等専門学校・大学等への支援

- ・グローバル化に対応した素養・能力を育み、国際的に通用する大学入学資格を取得できる**国際バカロレアの普及と認定校等の増加**に向け、**導入に係る支援、情報提供の体制の構築や大学における活用促進等**に戦略的に取り組む。

未来投資戦略2018 平成30年6月21日 閣議決定

【工程表】

国際バカロレアに関し、日本語DPの導入促進、国内の普及体制（コンソーシアム）の構築による国内大学入試における国際バカロレアの活用促進、導入に向けた環境整備（教育課程の特例措置、教員の養成・確保等）などを推進

- ・ **国際バカロレア認定校等を2020年度までに200校以上**（2016年度：101校（候補校含む））

まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版） 平成30年12月21日 閣議決定

◎ (2)-(ウ)-④ 地域人材育成プラン

また、国際的に通用する大学入学資格が取得可能な教育プログラム（国際バカロレア）の普及拡大を図り、**2020年までに国際バカロレア認定校等を200校以上に増やす**（2014年の74校から2018年6月現在で133校に増加）。

【工程表】

○国際バカロレアの普及拡大に向けて、一部日本語で実施可能とするプログラムの開発・導入を進めるとともに、必要な人材の確保や大学入試における活用等を一層促進する。

	2018年度まで	2019年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国際バカロレアについて、一部日本語で実施可能とするプログラムを開発・運用 ○学校教育法（昭和22年法律第26号）施行規則を改正し、国際バカロレアと学習指導要領の双方を無理なく履修できる特例措置を新設 ○国際バカロレア導入に係る支援、情報提供の体制として、文部科学省IB教育推進コンソーシアムを構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、国際バカロレアについて、一部日本語で実施可能とするプログラムの開発・運用を行う ○引き続き、文部科学省IB教育推進コンソーシアムを通じて、国際バカロレア導入に係る支援、情報提供を行い、必要な人材の確保や大学における活用促進等による認定校等の増加に向けた戦略的な施策を推進する
2020年KPI（成果目標）	国際バカロレア認定校等を2020年までに200校以上に増やす（2018年6月133校 ※候補校等含む）	

国際バカロレアの教育カリキュラム (DP)

ディプロマ・プログラム (DP) の履修形式

- コアの3科目は**全員必修**。その他の教科については、**各グループから原則1科目を選択**し、**計6科目**を履修（下表参照）。
- コア以外の各教科の科目には、上級レベル（HL：240時間程度）と標準レベル（SL：150時間程度）のカリキュラムが存在。選択可能な6科目のうち、**3～4科目はHL**で、**2～3科目はSL**で履修。
- 上記全てを履修し、**外部評価**（世界共通の試験による評価）**及び内部評価**（各学校の教員による評価）を通じて、**45点満点*中24点以上**を獲得することで、**国際的に通用する大学入学資格 (IB資格) を取得可能**。
※配点：コアは各1点×3科目、各グループの教科は7点満点×6科目

	教科名	教科の概要
コア (必修科目)	Extended Essay (EE) 課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる（英語は4000 word, 日本語は8,000字）。
	Theory of Knowledge (TOK) 知の理論	「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問を探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低100時間の学習。
	Creativity, Action, Service (CAS) 創造・活動・奉仕	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。最低150時間の学習。
	グループ名	選択科目リスト (赤字は、日本語DP校において、日本語での履修が可能な科目)
(各グループから1科目選択)	1. 言語と文学 (≒母国語)	言語A：文学、言語A：言語と文学、文学と演劇
	2. 言語習得 (≒外国語)	言語B、初級言語
	3. 個人と社会	地理、歴史、経済、ビジネスと経営、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教（標準レベルのみ）、グローバル政治
	4. 理科	生物、化学、物理、コンピューター科学、デザインテクノロジー、スポーツ・エクササイズ・健康科学（標準レベルのみ）
	5. 数学	数学：解析とアプローチ、数学：応用と解釈
	6. 芸術	音楽、美術、ダンス、フィルム、演劇

■：本告示改正で新たに学習指導要領上の科目に代替したい科目

(参考) 国際バカロレアを活用した大学入試

■ 日本における国際バカロレア入試導入状況

平成30年12月時点現在

全学部実施 (36大学)		一部学部実施 (25大学)	
会津大学	<u>千葉科学技術大学</u>	<u>愛知医科大学</u>	<u>広島大学</u>
浦和大学	<u>中京大学</u>	<u>青山学院大学</u>	<u>北海道大学</u>
お茶の水女子大学	<u>筑波大学</u>	<u>大阪市立大学</u>	<u>法政大学</u>
岡山大学	<u>東京医科歯科大学</u>	<u>大阪大学</u>	<u>武蔵野大学</u>
鹿児島大学	<u>東京外国語大学</u>	<u>学習院大学</u>	<u>明海大学</u>
金沢大学	<u>東京学芸大学(R2より)</u>	<u>京都大学</u>	<u>明治学院大学</u>
関西学院大学	<u>東京国際大学</u>	<u>近畿大学</u>	<u>立教大学</u>
京都外国語大学	<u>東北福祉大学</u>	<u>慶應義塾大学</u>	<u>立命館大学</u>
京都工芸繊維大学	<u>東洋大学</u>	<u>首都大学東京</u>	
倉敷芸術大学	<u>豊橋技術科学大学</u>	<u>順天堂大学</u>	
工学院大学	<u>名古屋大学</u>	<u>中央大学</u>	
神戸女学院大学	<u>日本工業大学</u>	<u>都留文科大学</u>	
国際基督教大学	<u>日本獣医生命科学大学</u>	<u>東京藝術大学</u>	
国際教養大学	<u>ビジネス・ブレークスルー大学</u>	<u>東京大学</u>	
芝浦工業大学	<u>松本歯科大学</u>	<u>東北大学</u>	
西南学院大学	<u>武蔵野学院大学</u>	<u>長崎大学</u>	
創価大学	<u>横浜市立大学</u>	<u>日本体育大学</u>	
玉川大学	<u>立命館アジア太平洋大学</u>		

計61大学

【注】

- ・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載（帰国生や留学生に対象を限定しているものを除く）。
- ・下線はIB資格取得者・取得予定者のみを対象とした入試を実施している大学。
- ・各大学へのアンケートに基づき文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局にて作成したもので、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではない。

※文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局調べ